

作物統計調査

令和7年産茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県）

令和7年産の荒茶生産量は、前年産に比べ2%増加となり、減少傾向から4年ぶりの増加

【調査結果の概要】

1 摘採実面積

摘採実面積^{※1}は2万5,400haで、前年産に比べ1,300ha（5%）減少した。

※1 摘採実面積とは、茶を栽培している面積のうち、収穫を目的として茶葉の摘取りが行われた実面積をいい、同一茶園で複数回摘採された場合の延べ面積ではない。

2 生葉収穫量

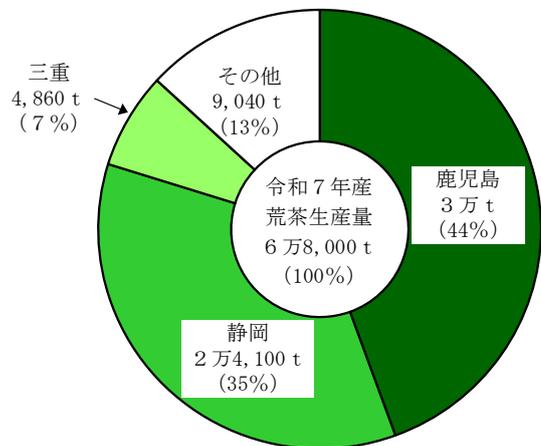
生葉収穫量は31万9,500tで、前年産並みとなった。

3 荒茶生産量

荒茶^{※2}生産量は6万8,000tで、前年産に比べ1,100t（2%）増加した。

※2 荒茶とは、茶葉（生葉）を蒸熱、揉み操作、乾燥等の加工処理を行い製造したもので、仕上げ茶として再製する以前のものをいう。

図 令和7年産茶の府県別荒茶生産量及び割合（主産県）



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表 令和7年産茶の摘採実面積、10a当たり生葉収量、生葉収穫量及び荒茶生産量（主産県）

区分	摘採実面積	10a当たり生葉収量	生葉収穫量	荒茶生産量	前年産との比較							
					摘採実面積		10a当たり生葉収量		生葉収穫量		荒茶生産量	
					対差	対比	対差	対比	対差	対比	対差	対比
主産県計	25,400	1,260	319,500	68,000	△1,300	95	60	105	200	100	1,100	102

○ 本調査結果は主産県を対象に実施した結果であり、主産県とは、全国の栽培面積のおおむね8割を占めるまでの上位都道府県を調査の範囲とし、その範囲に該当しない都道府県であっても茶の畑作物共済事業を実施し、半相殺方式を採用している都道府県である。

◎ 累年データ

茶の栽培面積、摘採実面積、10 a 当たり生葉収量、生葉収穫量、
荒茶生産量の推移（主産県）及び全国荒茶生産量の推移

区 分	栽 培 面 積	摘 採 実 面 積	10 a 当 たり 生 葉 収 量	生 葉 収 穫 量	荒 茶 生 産 量	全 国 荒 茶 生 産 量
	ha	ha	kg	t	t	t
平成28年産	37,900	34,300	1,040	357,400	75,400	80,200
29	37,300	33,800	1,070	362,700	77,100	82,000
30	36,500	33,300	1,150	383,600	81,500	86,300
令和元	35,600	32,400	1,100	357,400	76,500	81,700
2	32,700	29,700	1,000	298,000	63,100	69,800
3	31,700	28,800	1,150	332,200	70,700	78,100
4	30,800	27,800	1,190	331,100	69,900	77,200
5	30,100	27,200	1,180	320,000	68,000	75,200
6	29,300	26,700	1,200	319,300	66,900	73,900
7（概数）	27,900	25,400	1,260	319,500	68,000	75,100

資料：農林水産省統計部「作物統計」

注：1 令和2年産以降の主産県は、埼玉県、静岡県、三重県、京都府、福岡県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県の8府県であり、令和元年産以前は上記に愛知県、佐賀県及び長崎県の3県を加えた11府県である。

2 全国荒茶生産量について、全国調査を実施した令和2年産以外の値は、主産県の調査結果から推計した。

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040401063&ext=xls>

【 調査の概要 】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【 調査結果の主な利活用 】

- ・ 食料・農業・農村基本計画における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 茶に関する生産振興に資する各種事業の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「工芸農作物（さとうきび・茶など）」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y16
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和8年6月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

農林水産政策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

茶に関する情報関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞蚕糸・茶・薬用作物・こんにゃく・いぐさ（畳表）・その他
＞お茶のページ

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/cha/ocha.html>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3680
（直通）03-6744-2044

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries